

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	キャリア入門					授業形態	講義		
科目コード	160001	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	植村 秀人							ICT活 用	○
授業概要	<p>変化の激しい社会情勢の中で、自分自身の生き方を計画し実行していく力が求められている。これは、学生にとって重要な事項であり、既に進路を決定していたとしても無視できる話ではない。 本授業では、自分自身の生き方を計画し実行していく力（キャリアデザイン力）と位置づけ、キャリアをデザインしていくことについて学び考えることとする。そのことによって大学2年後期以降の学修や進路選択を主体的に行えるような力の形成を目指す。</p>								
関連する科目	環境園芸学科：フレッシュマンアワー、技術者倫理、インターンシップ 子ども教育学科：キャリアデザイン、キャリア教育演習、子どもと地域、子ども支援地域活動Ⅰ・Ⅱ								
授業の進め方 と方法	指定テキストを基本に使用する。テーマによっては、授業担当者が資料を配布する。講義形式ではあるが、随時個人ワークやグループワークを行う。								
授業計画 【第1回】	はじめに～本授業の位置づけ・概要～ キャリア形成・計画の必要性・重要性の理解、本時の概要等の説明を行います。								
授業計画 【第2回】	キャリアとは①～キャリアとは何か～ 主にテキスト「第1章キャリアとは①キャリアとは何か」を取り上げます。								
授業計画 【第3回】	キャリアとは②～社会人基礎力～ 主にテキスト「第2章キャリアとは②社会人基礎力」を取り上げます。								
授業計画 【第4回】	キャリアデザイン①～ライフプランとマネープラン～ 主にテキスト「第3章キャリアデザイン①ライフプランとマネープラン」を取り上げます。								
授業計画 【第5回】	自己理解①～主観的な自分～ 主にテキスト「第4章自己理解①主観的な自分」を取り上げます。								
授業計画 【第6回】	自己理解②～客観的な自分～ 主にテキスト「第5章自己理解②客観的な自分」を取り上げます。								
授業計画 【第7回】	社会理解①～働くとは～ 主にテキスト「第6章社会を知る①働くとは」を取り上げ、補足としてテキスト「第9章社会を知る④ワークルール」を取る挙げます。								
授業計画 【第8回】	社会理解②～仕事理解～ 主にテキスト「第7章社会を知る②仕事理解」を取り上げます。								
授業計画 【第9回】	社会理解③～今後の社会～ 主にテキスト「第8章社会を知る③今後の社会」を取り上げます。								
授業計画 【第10回】	自己理解③～自己理解を深めよう～ ジョブカードの作成体験を通して自己理解を深めよう。								
授業計画 【第11回】	キャリアデザイン②～大学生活の設計～ 主にテキスト「第10章キャリアデザイン②大学生活の設計」を取り上げます。								

授業計画【第12回】	言葉違い～言葉違いへの着目～ 主にテキスト「第12章言葉違い」を取り上げ、補足としてテキスト第11章・第14章にもふれる。
授業計画【第13回】	コミュニケーション①～コミュニケーションとは～ 主にテキスト「第13章コミュニケーション」について取り上げます。
授業計画【第14回】	コミュニケーション②～コミュニケーション・グループ演習～ コミュニケーションに関して演習を行います。
授業計画【第15回】	おわりに～これからのキャリア形成～ テキスト第11章・第14～16章についてふれます。また、本授業のまとめ、担当者からの感想や質問などへのコメントを行います。
授業の到達目標	①社会変化に応じた生き方を考える力を得る。 ②キャリアデザインに関連する用語（社会人基礎力、Society 5.0等）や社会背景について理解している。 ③自分のキャリアをどのように形成すべきか考え、その実現のための計画や行動ができる。 ④キャリアデザインのために学ぶことの重要性を理解している。
学位授与の方針(DP)との関連	3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	予習を行うこと（各1時間）
授業時間外学習【復習】	復習を行うこと（各30分程度） ワークシート等に取り組むこと（各30分程度） 前学期中にキャリアに関する書籍などを複数読んでみる（30時間程度）
課題に対するフィードバック	質問などは随時受け付けます。受付方法は、Q&A及び口頭・質問用紙とします。全体へ回答すべきものは全体へ回答します。ワークシートや各種課題に関しては、気になる点などを中心に全体へコメントします。
評価方法・基準	①毎回の課題の提出 65%（13回×5点） ②外部講師講演（第10回予定） 10% ③グループ演習（第14回予定） 10% ④感想文 5% ⑤授業姿勢 10% 筆記試験等は実施しない。 補足 ⑤は、授業全体の受講姿勢等を総合的に評価する。 欠席時の提出物は受け付けない。公欠の場合は考慮する。このような配点のため、必ず出席し、提出物等の漏れがないようにする。特に、第10回と第14回は配点が高いため注意すること。 なお、課題の作成に対して、コピペ・第3者もしくはAIにいたる代筆は禁止とし、判明した場合は評価項目の①・②・⑤の評価を0点とする。 再試は、レポートで行う。再試の評価は、1回目の評価を50%とし、レポートを50%として行う。ただし、成績上限を超えた場合には成績上限の点数とする。再試レポートのテーマや内容は、別途指示する。
テキスト	テキストを指定しますので、必ず購入すること。 稲本恵子（著、編集）：「大学生のキャリアデザイントレーニング【第2版】-キャリア理論/自己理解/社会人基礎力」：単行本：晃洋書房：2023/9/20
参考書	渡辺峻・伊藤健市（編集）：「学生のためのキャリアデザイン入門<第3版>」：単行本：中央経済社：2015/10/24 大宮登ほか5名（著）：「理論と実践で自己決定力を伸ばすキャリアデザイン講座（第3版）」：単行本：日経BP：2019/2/15 山崎京子・平林正樹（著）：「未来を拓くキャリア・デザイン講座」：単行本：中央経済社：2018/8/28 稲本恵子（著、編集）：「大学生のキャリアデザイントレーニング-キャリア理論/自己理解/社会人基礎力」：単行本：晃洋書房：2020/4/10 稲本恵子・白井弘子・吉浦昌子（著）：「社会人基礎力(大学生の社会人準備講座)」：単行本：晃洋書房：2018/3/20 吉原恵子・間瀬泰尚・富江英俊・小針誠（著）：「スタディスキルズ・トレーニング（改訂版）-大学で学ぶための25のスキル-」：単行本：実務出版：2017/10/10 西川真理子・橋本信子・山下香・石黒太・藤田里美（著）：「アカデミック・ライティングの基礎-資料を活用して論理的な文章を書く-」：単行本：晃洋書房：2017/4/20
備考	